

学校法人 寶城学園
理事長 浅沼 成之 様

令和4年度
学校関係者評価報告書

令和5年3月

学校法人 寶城学園 学校関係者評価委員会

令和4年度の学校関係者評価は、教員の自己評価・自己点検の結果報告後、翌年度にかけて取り纏めを行った。去る令和4年4月16日に、第1回目の評価員会を開催し、翌月21日に第2回目の評価委員会、翌年3月18日に第3回目の評価員会を開催し、令和4年度の学校評価について取りまとめを行った。

教員の自己評価報告を踏まえ、本評価報告書を取り纏め、3月29日に栗原委員長より設置者へ報告をすることとした。

令和5年3月

学校関係者評価委員会
委員長 栗原 正晴

1. 学校評価委員会の構成

※ ◎は委員長

選任区分	氏名	任期
民生児童委員	◎ 桑原正晴	R4.4.1～R8.3.31
元教育関係者	松村剛	R4.4.1～R8.3.31
卒園児父母	山崎剛	R4.4.1～R8.3.31
元PTA会長	小柳典央	R4.4.1～R8.3.31
元PTA会長	横山浩章	R4.4.1～R8.3.31
卒園児父母	中野朝子	R4.4.1～R8.3.31

2. 委員会の開催状況

第一回目	日時	令和4年4月16日(土) 午後2時00分より
	場所	学校法人寶城学園 小川幼稚園 北館職員室
	参加	5名(園長含む)
	内容	前年度学校評価の取り纏め報告等
第二回目	日時	令和4年5月21日(土) 午前10時00分より
	場所	学校法人寶城学園 北館職員室
	参加	6名(園長含む)
	内容	令和3年度学園の運営状況の報告等

第三回目 日時 令和5年3月18日(土) 午後2時00分より
 場所 学校法人寶城学園 北館職員室
 参加 7名(園長含む)
 内容 令和4年度の学校評価の取り纏めと令和5年度事業計画
 について

令和4年度の教育活動に対する学校評価

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の項目	判定	意見・評価	判定
教育目標	園目標は地域の特色を生し、前年度の反省を踏まえ、職員全員共通理解をしているか	A	前年度同様概ね達成ができていると評価する。引続き全職員年間目標を共有すること。	A
指導	指導計画が幼児の実態に則し、教材・教具を適切に活用し、指導の改善に努めているか	A	新型コロナウイルスの影響で大変な中、一人ひとりを大切にされた指導を評価する。	A
教育計画	行事の種類や回数に配慮し、ねらいを教育計画に生かし、実践的な活動にしているか	B	コロナウイルスの影響が延びる中、教育計画に工夫が見られ良好と評価する。	A
情報	個人情報の管理と公文書の收受、発送と処理、各表簿の適正な作成と管理をしているか	B	令和3年度より一部の個人情報がデータベースに移行され、適切に管理されている。	A
施設・設備	園舎・園地の安全管理と遊具・教具等の適正な保管と不審者等の対策は万全か	A	北館トイレの改修工事は、幼児の利便性と衛生管理の面でも向上できた。	A
保幼小等の連携	他校種との交流計画や指導者同士の合同研修等の場を設けお互いに情報交換を行い、教育に対する理解を深めているか	C	コロナウイルスの影響で他施設との交流が持てない状況なので、次年度以降に期待をする。	B
分掌・運営	職員の配置や仕事の分担・割り当てが適切か。各種会議は効率よく進めているか	B	少しずつ改善が見られる部分は評価するが、さらに効率的な改善を進めるよう期待する。	B
クラス経営	目標は幼児の実態に則し、学年、学級目標のねらいは適切か評価・資料を集積しているか	B	コロナ禍での保育は苦労があったと思う。職員の頑張りを大いに評価したい。	A

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の内容	判定	意見・評価	判定
保健指導と安全指導	避難訓練、交通安全指導は、計画に基づき実施され、健康や安全に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか。関係機関との連携はとれているか	C	給食の誤食事故を受け、対応に苦慮したことと思うが、給食委員会を中心に、安心安全な給食の提供と、アレルギー研修等を園内で実施し、職員一人ひとりの資質向上に努めてほしい。	B
研究・研修	研究主題は、教育目標の具現化につながり、研修の計画、運営は適切で、研修への参加体制の充実と研修結果の還元に努めているか	B	園内での研修会が開催できたことは評価したい。次年度も資質の向上に努めていただきたい。	B
子育て支援	地域の子育て支援センターの役割と、実態を捉えた預かり保育の実施に努めているか	A	預かり保育中での怪我の報告が気になった。改めて安全管理の徹底をお願いしたい。	A
情報の発信	学年だよりやホームページを活用して、園の情報を外部へ発信できているか	A	学年だよりの様式変更等、保護者へ園の様子を伝える工夫が見られた。引き続き園生活の様子を発信していただきたい。	A

・上記の自己評価、学校関係者評価を経て、下記の点を令和5年度への課題として挙げます。

- 令和4年度も新型コロナウイルスの影響を少なからず受け、予定をしていた年間行事も縮小しての実施となったが、実施内容を工夫することで十分に園生活を楽しめたと思う。特に衛生管理では、幼児の手指消毒やマスクの着用や、行事の実施の有無に対する保護者からの様々な意見があり、一人ひとりに適した対応をとる難しさを自己評価書等から読み取ることが出来た。今後も園内で共通した対応や理解を持ち、アフターコロナを見据えた取組みに期待したい。
- 職員会議の持ち方は、回数を減らし効率的に開催出来ていると感じた。今後も時間を有効的に活用し、効率の良い会議運営に努めてもらいたい。

- 新型コロナウイルスの終息を見据え、園内外の研修参加を促し、職員個々の資質向上を目指しながら、園全体のレベルを上げていく努力を期待したい。

- 北館園舎のトイレ改修工事は、長年の懸案事項だと聞いていたので、全便器様式への切替えやドライ方式の導入で、利便性と衛生管理についてとても良いと感じた。

- 給食提供時の事故については、委託先の安全確認不足が原因であり、職員に責任はないと思うが、万が一事故が起きた時の対応等について、アレルギー反応の様子や対処法について知識を深めると共に、新たに立ち上げた給食委員会で委託先との連絡を密に取り、同じ過ちを起こさないように日々意識をもって給食の提供を努めてほしい。

令和4度も、新型コロナウイルスへの対策に追われる中、先生方は様々な工夫や取り組みをもって一年間取組んできたことに、評価委員一同高く評価をしたい。5月からは、新型コロナウイルスの分類が下がり、様々な制限が緩和される中で、対策を十分に取りながらほぼ通常期の活動が実施できることを期待して、令和4年度の報告とする。

以上のおり報告致します。

令和5年3月29日

学校法人 實城学園 学校関係者評価委員会

委員長

㊞